



## 訪日観光客の足踏みで 香港進出のチャンス

AAJ Hong Kong Limited 代表 周 碧嘉 (Chow Jolanda)

訪日外国人観光客の日本国内への受け入れについて、9月7日からはすべての国を対象に添乗員がいないツアーの受け入れも可能となり、これまで求められてきた出国前72時間以内の検査での陰性証明については、3回分のワクチン接種証明を提示すれば免除されることとなった。このように日本への入国制限については緩和されつつあるが、香港に戻る際に義務付けているホテルでの強制隔離が3日間(9月7日現在)必要となるため、香港から日本への海外旅行の本格的な回復にはもう少し時間がかかりそうだ。



香港街の様子 ©2022 香港ポスト

2019年は年10回以上の訪日リピーターが人口約750万人の約3割に及んだ。インバウンド消費額は3,573億円と、世界一の訪日リピーターの市場である。こうしたなか香港で5番目となるフルサービスキャリアの大湾區航空が設立され、日本路線は13本就航することが発表された。今後さらに訪日客の伸びが期待できる。

また、各旅行会社の調査では、新型コロナウイルス感染症収束後の訪日形態は下記のような変化を予想している。①友達やファミリー向けのツアーの希望者が増加 ②団体ツアーは30～40人程度から25人程度まで減少 ③FIT(海外個人旅行)の増加。さらに昨今の円安で日本不動産投資ツアーも増えそうだ。

一方、香港では新型コロナウイルス感染症流行により市民の消費スタイルは大きく変化した。HKTVモールなどのオンラインショッピングが爆発的に拡大し、日本食フェアも時折開催。香港にいながらにして日本食材を手軽に安く購入できるようになったことで訪日需要の受け皿となっている。

地場の旅行会社はオンラインショップも開始。訪日旅行が完全再開した後も、物産の販売事業で立ち上げた物

流システムを活かし、買い物代行・搬送などのサービスをツアー商品に取り込むことも可能と考える。

新型コロナウイルス感染症流行の逆風のなかで日本企業の香港市場進出も目立つ。2019年7月には「DON DON DONKI」1号店が尖沙咀にオープンし、その後わずか3年で11店舗まで拡大した。日本に行けない市民が、日本の味や雰囲気を楽しめる場所として好評で、DON DON DONKI 香港は「嬉しい誤算の進出だった」と述べている。さらに回転寿司「スシロー」が2019年8月に進出。16店舗ある同店は今もなお数時間待ちという人気



DON DON DONKI ©2022 香港ポスト

を誇る。2022年5月には「マツモトキヨシ」が観塘に初出店しており、初日は朝から長蛇の列ができた。

長引く新型コロナウイルス感染症流行のなかで海外進出をためらう企業は多いが、香港市民が日本へ渡航できない状況を逆にとり、日本企業の進出には追い風となっている。

### プロフィール

周 碧嘉 (Chow Jolanda)

香港出身。イギリスのブリストル大学卒業。AAJ Hong Kong Limitedの代表として、飲食企業などのビジネスコーディネイト業務に従事。また、訪日インバウンド支援や、地方自治体向けのメディア・旅行代理店招聘事業、一般企業向けの訪日マーケティング・SNS運営代行、PRイベントの企画運営管理などにも携わる。また、日本貿易振興機構(JETRO)香港事務所にて、「ジェトロ中小企業海外展開現地支援プラットフォームコーディネーター」に従事し、日本企業の香港での販路開拓活動を支援。その後、飲食・食品業のコンサルティングを行うJ2H Consulting Limitedを創業。